

第176回 むつ市国民健康保険運営協議会会議概要

開催日時： 平成28年1月15日（月）午後6時30分

場 所： むつ市役所 第4会議室

出席委員： 半田会長、白井委員、富岡委員、木村委員、坂本委員、田中委員、槇委員、
山田委員、堀内委員、中村委員、中野委員、近原委員（委員＝12名）

関係部局： 柳谷民生部長、東政策推進監
工藤健康推進課長、赤坂税務課長、加藤総括主幹、佐藤川内庁舎市民福祉課長、
笹谷大畑庁舎市民福祉課長、山崎脇野沢庁舎市民福祉課長

事務局： 藤島国保年金課長、古屋敷国保GL、佐藤主任主査、澤田主査、山田主事

平成27年度第4回目の国保運営協議会の開催となる。
審議は、第175回協議会において諮問された「むつ市国民健康保険税率の改定」について行われた。

1 開 会

2 議事録署名委員の選出

- ・議事録署名人として、中野委員が選出された。

3 審 議 内 容

- ・前回の協議会において出された諮問及び参考資料について事務局から説明を行った。主な内容は次のとおり。
- ・前提は、平成30年度からの県単位化を見据え、平成26年度から平成29年度までの4カ年の収支均衡を図るということ。
- ・基礎課税分については、基盤安定負担金等の税外収入の増額が見込まれるため、マイナス改定となっている。
- ・後期高齢者支援金分、介護納付金分については、稼動層が流出し、全体的に所得が下がったことにより、プラス改定となっている。
- ・前回の答申の附帯意見に関するこれまでの取り組みについての説明を行った。内容は次のとおり。
- ・収納率向上対策及び滞納整理対策の強化については、収納率向上対策では、口座振替の推進ということで、26年度には、口座振替申込書のダウンロードを可能としていること、平成27年度には、口座振替をしていない世帯に対して、利用を呼びかける広報を納税通知書に同封していること、昨年視察研修で訪れた射水市を参考に、ペイジー口座振替受付サービスの利用を検討するため、日本マルチペイメントネットワーク推進協議会のオブザーバー会員となり、運営費や事務手続きの情報収集に着手したことを説明した。
- ・ジェネリック医薬品の普及促進、健康づくりのための事業推進については、平成26年度の保険証発送時に、むつ市オリジナルのジェネリック医薬品希望カードを同封していること、新しい事業として、むつ☆健康マイレージ事業を実施しており、全国でも先進的な事例となるス

スマートフォンアプリを利用した健康づくり支援を実施していること等を説明した。

・主な質疑については次のとおり。

・本当にこの試算で29年度までやっていけるのか心配している。正確なデータに基づいてシミュレーションされているのか。収入は間違いなく減っていると思うが、それを加味した形でもう1度シミュレーションするか、大丈夫であるという根拠を示していただきたい。

シミュレーションについてのさらに詳細な資料を次回提示します。

・平成30年度に県単位化となってからは、県が標準保険料率を示すということだが、むつ市の被保険者数からすると、収納率が92%に設定されるという説明を受けたが、現在の収納率との差を埋めるために、また税率を上げなければならなくなることも考えられる。従って、いかに収納率を上げていくかが求められるが、どう考えるか。

被保険者5万人以下では、92%がラインとなるという説明を県から受けたわけですが、むつ市の90.77%でも青森県ではかなり上位です。ということは、92%ということになればどこの市町村でも厳しいと考えられるので、これから県と協議していきたいと考えています。

・高齢化に加え、所得も低下している状況だが、シミュレーションは問題ないのか。

今回のシミュレーションでは、実際の所得の動きなどを見て、所得減少を踏まえた形で4%としています。歳入もかなりきつく見積もっています。保険者努力支援制度の導入も今後あり、保険者ががんばるほど交付金が増えるという仕組みですので、今後、市側の努力で収入を上げていきたいと考えています。

・次回も引き続き諮問に関する審議を行うこととした。

4 閉 会